

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	パスキューアクセス閉鎖術の移植腎機能に及ぼす影響の検討 (C21-265)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部 泌尿器科 講師 石井大輔
他の研究機関および 各施設の研究責任者	大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器科病態学 講師 長沼俊秀 長崎大学医学部泌尿器科学講座 准教授 望月保志 奈良県立医科大学医学部泌尿器科学講座 教授 米田龍生
本研究の概要・背景・ 目的	欧米の研究において腎移植後のシャント閉鎖により腎機能悪化のスピードが若干早くなることが指摘されていますが、我が国においてその現象が見られるかどうかははっきりわかりません。本研究により我が国においてのシャント閉鎖が実際どれくらい腎機能に影響を及ぼしているかを調べます。
調査データ 該当期間	2000年9月1日～2025年12月31日
対象となる患者さま	2000年9月1日～2020年9月30日までに北里大学病院の泌尿器科でシャント閉鎖術を施行した腎移植患者さんの内、シャント閉鎖術後2年以上経過した方が対象になります。
研究の方法 (使用する試料等)	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報等：【病歴、診断名、手術歴、年齢、性別、身長、体重、原疾患、既往歴、透析歴、喫煙歴、移植条件、移植後経過、内服薬、検査データ、血圧】
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究代表者 長沼俊秀 多施設共同研究であり、上記の研究機関・研究責任者へ提供 匿名化して電子的にデータを送信します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は日本臨床腎移植学会の研究費により実施されます。 利益相反については北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部 泌尿器科 講師 担当者：石井大輔（イシイダイスケ） 電話：042-778-8111(代表)

